

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2022 年 第 16 週（4月18日~4月24日）

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1 人 病型 無症状病原体保有者 血清型 O157
四類感染症 A 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
E 型肝炎	1 人 推定感染地域 不明
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人 菌種 <i>Serratia</i> sp.
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 AIDS
梅毒	4 人 病型 早期顕症 期 2 人、 早期顕症 期 2 人

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

< 定点把握対象疾患の患者情報 >

小児科及び内科定点把握対象疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下の状況で推移している。眼科定点報告疾患では、**流行性角結膜炎** 8 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**無菌性髄膜炎** 1 人、**マイコプラズマ肺炎** 1 人の報告があった。

~ 2022 年度インフルエンザ HA ワクチン製造株の決定について ~

インフルエンザ HA ワクチン製造株について、下記のとおり決定されました。

A 型株 A / ビクトリア / 1 / 2020 (IVR - 217) (H1N1)

A / ダーウィン / 9 / 2021 (SAN - 010) (H3N2)

B 型株 B / プーケット / 3073 / 2013 (山形系統)

B / オーストラリア / 1359417 / 2021 (BVR - 26) (ビクトリア系統)

- この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、衛生研究所 感染症疫学情報担当

TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。

- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL:

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idschtml>) で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第16週)

(2022年4月26日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	16			
四類感染症					
E型肝炎	1	8	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	2	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		11
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		1	侵襲性肺炎球菌感染症		11
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	16	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	4	128
急性脳炎		7	播種性クリプトコックス症		1
クリプトスポリジウム症			破傷風		
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		10	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	6	百日咳		6
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症			麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症*2				

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

*2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

保健所	感染症発生動向調査		週情報		報告患者数		保健所別		(2022年第16週)		4月18日~4月24日							
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(入院)	インフルエンザ
全	1	2	5	18	8	15	3	62	-	6	-	8	-	1	1	-	-	-
報定	0.00	0.01	0.03	0.11	0.05	0.09	0.02	0.39	-	0.04	-	0.20	-	0.09	0.09	-	-	-
朝	-	2	-	3	70	1	-	5	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
報定	-	0.13	-	0.20	0.07	0.07	-	0.33	-	0.13	-	0.25	-	-	-	-	-	-
鴻	-	-	-	2	30	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	0.17	0.08	0.08	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東	-	-	-	18	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
報定	-	-	-	3.60	-	-	-	0.80	-	-	-	1.00	-	-	1.00	-	-	-
秩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
庄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	-	-	-	1	64	2	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	0.13	8.00	0.25	-	0.13	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
加	-	-	-	-	7	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	-	1.17	-	-	0.17	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-
春	1	-	2	-	25	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
報定	0.10	-	0.33	-	4.17	0.17	-	0.67	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
幸	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	0.11	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂	-	-	-	-	26	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	-	4.33	-	-	0.17	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草	-	-	-	-	78	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	-	7.09	-	-	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
狭	-	1	2	61	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	0.07	0.13	4.07	0.07	0.07	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	3	22	1	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	1.00	7.33	-	0.33	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川	-	-	-	22	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
報定	-	-	-	2.75	-	-	-	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
越	-	-	4	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
報定	-	-	0.50	1.50	-	-	-	0.13	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-
川	-	1	2	76	-	6	-	9	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
報定	-	0.08	0.15	5.85	-	0.46	-	0.69	-	0.08	-	0.25	-	-	-	-	-	-
さい	-	1	-	96	2	4	-	15	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
報定	-	0.04	-	3.69	0.08	0.15	-	0.58	-	0.04	-	0.14	-	-	-	-	-	-

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2022年第16週 4月18日～4月24日)

	報告患者数																			
	合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
RSウイルス感染症	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	5	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	-	2	2	1	-	2	1	2	1	2	2	-	-	-	-	-	-	3	
感染性胃腸炎	625	7	36	98	83	84	71	68	32	23	18	26	41	7	31	-	-	-	-	
水痘	8	-	1	1	-	2	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	
手足口病	15	-	7	4	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	3	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	62	1	8	38	12	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	1	-	2	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	8	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	1	2	-	-	-	1	
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第14週 (4月4日～4月10日)

令和4年4月27日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は三重県(0.03)、鳥取県(0.03)、石川県(0.02)、愛知県(0.02)、滋賀県(0.02)、愛媛県(0.02)、宮崎県(0.02)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告はなかった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第10週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.75)、島根県(0.52)、福井県(0.48)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(0.30)、長崎県(0.23)、鹿児島県(0.23)、福島県(0.20)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.68)、長崎県(0.64)、富山県(0.48)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(6.61)、鹿児島県(5.55)、富山県(5.31)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(2.00)、沖縄県(1.62)、鹿児島県(0.30)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は香川県(0.07)、大分県(0.06)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(0.22)、沖縄県(0.18)、広島県(0.11)、宮崎県(0.11)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(0.09)、香川県(0.07)、岡山県(0.06)、沖縄県(0.06)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(0.20)、高知県(0.13)、静岡県(0.10)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少し、今週の報告はなかった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2022年第14週(4月4日～4月10日): 通巻第24巻 第14号より

<関東情報>

		2022年 14週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	16	3	1	-	-	-	1	1	-
	定点当たり	0.00	0.00	0.01	-	-	-	0.00	0.00	-
RSウイルス感染症	報告数	312	22	3	5	-	3	1	3	7
	定点当たり	0.10	0.02	0.04	0.10	-	0.02	0.01	0.01	0.03
咽頭結膜熱	報告数	233	34	2	-	10	3	3	6	10
	定点当たり	0.07	0.04	0.03	-	0.19	0.02	0.02	0.02	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	658	112	6	9	16	18	13	20	30
	定点当たり	0.21	0.12	0.08	0.19	0.30	0.11	0.10	0.08	0.14
感染性胃腸炎	報告数	9,170	2,919	122	71	176	540	445	891	674
	定点当たり	2.93	3.13	1.65	1.48	3.26	3.38	3.53	3.54	3.08
水痘	報告数	208	53	5	5	3	9	6	11	14
	定点当たり	0.07	0.06	0.07	0.10	0.06	0.06	0.05	0.04	0.06
手足口病	報告数	213	42	1	5	11	7	3	9	6
	定点当たり	0.07	0.05	0.01	0.10	0.20	0.04	0.02	0.04	0.03
伝染性紅斑	報告数	44	13	-	1	2	3	1	4	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.02	0.04	0.02	0.01	0.02	0.01
突発性発しん	報告数	918	234	9	13	17	37	27	69	62
	定点当たり	0.29	0.25	0.12	0.27	0.31	0.23	0.21	0.27	0.28
ヘルパンギーナ	報告数	50	7	-	2	-	1	-	4	-
	定点当たり	0.02	0.01	-	0.04	-	0.01	-	0.02	-
流行性耳下腺炎	報告数	54	20	1	-	1	3	1	7	7
	定点当たり	0.02	0.02	0.01	-	0.02	0.02	0.01	0.03	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	106	36	7	2	1	2	3	8	13
	定点当たり	0.15	0.18	0.41	0.17	0.07	0.05	0.09	0.21	0.25
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	5	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.09	-	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	2	-	-	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.00	0.02	-	-	-	-	-	0.08	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況(2021年)

埼玉県で 2021 年に検出され、衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は 111 株でした。

111 株の血清型は、O26:H11 が 47 株 (42.3%) と最も多く、次いで O157:H7 が 29 株 (26.1%)、O156:H25 が 6 株 (5.4%) と続きました (表)。O26:H11 は、保育園での集団感染事例の影響により、他の血清型に比べ多く検出されました。また、O156:H25 の 6 株については、届出時には O 血清型不明とされていましたが、国立感染症研究所による詳細な検査の結果、血清型が O156:H25 と判明しました。この血清型は全国でも約 60 株検出されており、例年より多い傾向でした。O156:H25 は主に無症状病原体保有者から分離されたため、他県を含め喫食状況等の情報が十分でなく、現時点で感染原因は不明です。

毒素型については、O26:H11 では VT1 単独産生株が 46 株、VT1,VT2 産生株が 1 株でした。O157:H7 では VT1,VT2 産生株が 20 株、VT2 単独産生株が 9 株でした (表)。

検出された 111 株のうち、47 株 (42.3%) は、患者発生に伴う家族検便や給食従事者等に対する定期検便により、無症状者から検出されたものでした。特に、最も多く検出された O26:H11 では 48.9% (23 株/47 株) が無症状者から検出されました。

表 検出された腸管出血性大腸菌の血清型・毒素型別検出数 (2021)

血清型	毒素型			計
	VT1	VT2	VT1&2	
O157:H7		9	20	29
O157:H -		1	3	4
O26:H11	46		1	47
O26:H -	1			1
O111:H -	1		2	3
O103:H2	4			4
O156:H25	6			6
O177:H -		2		2
その他	8	5	2	15
	66	17	28	111

検出株については、MLVA 法による遺伝子型別を実施しました。O157:H7 は 29 株が 23 パターンに、O26:H11 では 47 株が 13 パターンに分けられました。特に O26:H11 では、集団感染事例の影響で、26 株 (55.3%) が特定の MLVA 型に集積がしました。

施設における集団感染の拡大を防止するため、早期の探知と共に検診による感染状況の把握を適切に行うことが重要となります。

感染症発生動向調査
2022年

- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2022年 第15週](#)

感染症の流行状況 2022年 第16週

2022年第16週（4月18日～4月24日）の要点 令和4年4月27日

定点把握対象疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下でした。引き続き、外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	↑	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい←★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン